

本庄総合公園春まつりで自衛をPR

埼玉地本（本部長 山本方之一空佐）は、5月11日（日）、本庄総合公園内特設会場における、「第8回本庄総合公園春まつり」において募集広報を実施した。自衛隊募集広報ブースを開設するのは、今年で3回目となる。

本庄市公園指定管理者清香園と東京ドームスポーツ共同体主催で行われ、野外ステージのダンス、屋台・B級グルメコーナー、フリーマーケット、自動車展示コーナー等、出展参加店舗は80を超える地元でも人気なお祭りである。併せて、埼玉西武ライオンズ対読売ジャイアンツの試合観戦者が県内外から集まり来場者は約2万人を超えた。

埼玉地本は広報ブースにおいて、本庄児玉地域自衛隊父兄会会長岩佐氏と募集相談員小暮氏等の協力を得て、パンフレット、チラシ等の配布を行い、多くの市民等に自衛官募集をアピールすることができた。また大島災害派遣写真・陸海空写真パネルと戦闘糧食や高機動車を展示するとともに、88式ヘルメット、防弾チョッキ等装備品の体験試着コーナーを設け、多くの来場者が訪れ好評であった。

特に高機動車は人気が高く、バラキューダで偽装することにより、よりワイルドになり、小さなお子様から中高生、年配者等幅広い年齢層の方達の目に多く触れ、自衛隊の存在感を十分にアピールすることができた。

埼玉地本は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、地元と密接した広報を行い募集基盤の強化を図っていききたいと考えている。



越谷防災ウィークで自衛隊をPR

埼玉地本（本部長 山本方之一空佐）は、朝霞地域事務所（所長 山田幸栄3海佐）を担当とし、5月17日（土）、18日（日）の二日間、越谷レイクタウンQ駐車場地域において、募集広報を実施した。

レイクタウンは連日約4万人の来場者を数える県内でも屈指のアーミューズメントパークで、埼玉地本は戦闘糧食や災害救助セットの展示を始め、ミニ迷彩服の体験試着を実施した。また、越谷市が隊区となっている第32普通科連隊から偵察バイク、救急車、82式指揮通信車が展示され、多くの家族連れが興味深く眺めていた。この他、朝霞地域事務所の初の試みとして高機動車の体験試乗を実施した。通常は止まったままでの試乗であるが、以前から実行委員会より要望があり今回実現したものだ。三歳の男の子のお母さんは、「まさかこんなにかっこいい自衛隊車両に乗せてもらえるとは思わなかった。貴重な経験が出来、ありがとうございました。」と、興奮気味に話していた。二日間に渡り合計5回の体験試乗を実施し、およそ八百人の来場者を乗車させることができた。

二日間にわたるイベントは大きな成果を残し幕を閉じた。埼玉地本朝霞地域事務所は今後も効果的なイベントを実施し、積極的に募集基盤の強化を図っていききたいと考えている。

